

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成19年2月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.50



中国からの修学旅行生が
五ヶ瀬町を訪問

華南師範大学附属中学番禺学校生（ジャージ姿）が三ヶ所中学校生へ中国のおみやげをプレゼント



旧桑野内小学校では、五ヶ瀬町地域振興課の菊池日香里さんと宮崎製茶の宮崎亮さんの講話の後、五ヶ瀬町商工会長の小笠まゆみさんがいれた釜炒茶を試飲しました。



宿泊は七軒の農家民宿に分宿。言葉が通じなくて苦労していましたが、折り紙で交流を図るところもありました。



三ヶ所中学校では、日本語、中国語と身振り手振り、一生懸命お互いに話しかけ交流しました。



五ヶ瀬ハイランドスキー場では、雪合戦をしました。雪を見るのは初めてで、みんな大はしゃぎ。

県とみやざき観光コンベンション協会が取り組んでいる中国からの修学旅行誘致活動の成果として、中国広東省広州市の華南師範大学附属中学番禺学校（崔炳輝校長、生徒数約二千）の中学部一、二年と高等部一年の五十二人が、二月八、九日に五ヶ瀬町で滞在・体験型修学旅行を実施しました。旧桑野内小学校で環境森林や釜炒り茶について学んだ後、地元の方が作った夕食や神楽を楽しみました。宿泊は、農村民泊を体験。翌日は、五ヶ瀬ハイランドスキー場で雪遊びをした後、五ヶ瀬町立三ヶ所中学校でお互いに伝統芸能を披露したり、いっしょに給食を食べたりして交流しました。

平成18年度「食と農」壁新聞コンクール

みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵支部では、西臼杵管内の小学校3年生から6年生を対象に、学校や家庭での様々な農業体験活動や作物・食べ物に関する取組を壁新聞にまとめることで、「食と農」に対する関心をより一層高めてもらおうと「食と農」壁新聞コンクールを、昨年度に引き続き実施しました。

管内の小学校9校から、67点（総勢232名）の応募があり、審査の結果、17団体と3個人が入賞し、2月4日に、高千穂町の「ゆめゆめプラザTAC」で、表彰式が行われました。表彰式には、入賞した児童とその家族など約160人が出席しました。

平成18年度「食と農」壁新聞コンクール 入賞者一覧表

賞名	学校名	新聞名	チーム名
金賞	高千穂小学校	米づくり新聞	5年松組5
	三ヶ所小学校	五ヶ瀬食育新聞	チーム食育
銀賞	三ヶ所小学校	なるほど！なっとく！お米新聞！	チーム米作り
	上野小学校	上野人（かみのびと）のチカラ	笑う門には米来たる
銅賞	日之影小学校	ゆず	ゆずパワー
	上野小学校	いもをほったらいもはかせ	上野いもはかせ
西臼杵教育事務所長賞	上野小学校	教えるよ！いものひみつをどっさりと新聞	上野いもしらべたい
特別賞（高千穂町）	高千穂小学校	しいたけ物語	6年竹組
	高千穂小学校	お米ができるまで	5年松組6
	岩戸小学校	お米の役目	富高由李江
	岩戸小学校	ご飯先生のなるほど新聞	佐藤元彦
	向山北小学校	米作り新聞	S.K.Y.T.
日之影町特別賞	八戸小学校	バケツイネの成長	八戸三（やとさん）
五ヶ瀬町長賞	三ヶ所小学校	五ヶ瀬特産物ニュース	チーム特産物
JA組合長賞	高巣野小学校	お米最高～！	キラキラ米
JA組合長賞	八戸小学校	八戸小の米作り	元気いっぱい
みやざきブランド推進西臼杵地域本部長賞	高巣野小学校	生産地調べ	俵昌史
宮崎県米消費拡大推進協議会 西臼杵支部長賞	高巣野小学校	米博士新聞	お米大好き！
西臼杵地区産米改良協会会長賞	向山北小学校	田んぼのこん虫	KON-CHU
西臼杵農業改良普及センター所長賞	高千穂小学校	お米と私達	5年松組1



金賞を受賞した高千穂小学校「5年松組5」の皆さん



金賞を受賞した三ヶ所小学校「チーム食育」の皆さん



表彰式に参加した児童の皆さん



金・銀・銅賞の6点は、Aコープ高千穂店に展示しました。

食育講演会を開催

みやざきブランド推進西臼杵地域本部などが主催し、食生活・健康ジャーナリストで内閣府「食育推進会議」専門委員の砂田登志子先生による講演会が、2月4日にJA高千穂地区ゆめゆめプラザ・TACで開催されました。

「楽しく食育」と題して、「学歴より食歴が大事」という考えのもと、家庭や地域の食文化を伝えていくことがいかに子供達のためになるかを熱心に講演されました。

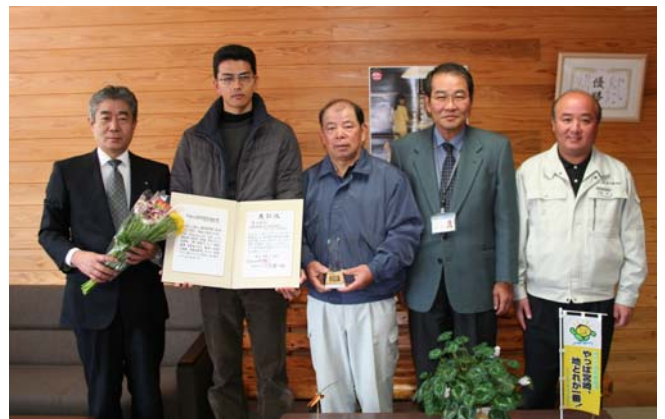


砂田登志子先生が、食育についていろいろな話をしてくださいました。

JA高千穂地区ランキュラス部会が 第49回宮崎日日新聞農業技術賞を受賞

JA高千穂地区花き園芸振興会ランキュラス部会（松本陽介部会長、21人）は、第49回宮崎日日新聞農業技術賞（花き部門）を受賞し、2月15日に西臼杵支庁長に受賞報告に来られました。

同部会は、平成17年に発足し、現在、西臼杵3町において21戸が117アールを栽培しています。長野県に次ぐ全国トップレベルの産地となっています。



受賞報告をした松本部会長（左から2人目）、後藤慶生副部会長（左から3番目）、JA高千穂地区の後藤課長（一番右）

西臼杵地区林野火災防止パレード開催

県では、12月から3月にかけて空気が乾燥し火災が発生しやすいことから、林野火災予防意識の普及啓発を図るため、「伝えたい 森のやさしさ 火のこわさ」を統一標語として、「林野火災予防運動」（1月30日から2月5日）を実施しています。

この運動に合わせて、西臼杵では2月1日に北部森林管理署、西臼杵3町、西臼杵森林組合、支庁の職員18名（車13台）が西臼杵3町をパレードし、林野火災の防止を呼びかけました。



西臼杵地区林野火災防止パレードの出発式

完熟きんかん「たまたま」贈呈

JA高千穂地区きんかん部会（佐藤智明部会長）から西臼杵支庁長に完熟きんかん「たまたま」の贈呈がありました。

JA高千穂地区は、県の商品ブランド「完熟きんかん」の産地認定を受けています。また、この地域は、気温の日格差が大きいので果実の発色、食味がよく市場から高い評価を得ています。

西臼杵地域のきんかんは、栽培面積も年々増加してきており、3月末までに約70トンの出荷量が見込まれています。



内倉高千穂町長（左から2番目）とともに完熟きんかん「たまたま」を支庁長に贈呈するJA高千穂地区きんかん部会の佐藤部会長（中央）と後藤邦治副部会長（右から2番目）（2月8日）

日之影町が「アグリホリデー」を実施

2月24～25日

日之影町では、今年度からの新たな取り組みとして、実際に受け入れ農家で農作業の手伝いを行う「日之影町アグリホリデー」を実施しています。

今回は、今年度2回目の実施で、宮崎市や日南市等から7組10人が参加。

参加者は、ランキュラス、完熟きんかん、しいたけの収穫やおずきの植付け等の農作業体験を行いました。



ほおずきの植付けを行う参加者

「九州横断自動車道延岡線 熊本・宮崎女性のつどいin高千穂」

2月4日

日ごろから、道づくりの女性の会等で活動している本県と熊本県の沿線に住む女性約60人が参加し高千穂町自然休養村管理センターで行われました。

九州横断自動車道延岡線の現状を聞いた後、5ブロックに分かれ、それぞれの地域の観光名所や伝統文化をまとめた「地域資源マップ」を作成し、九州横断自動車道延岡線の必要性について意見交換を行いました。



西臼杵郡の地域資源マップを作成する参加者

第22回神話の高千穂建国まつり

2月11日

建国記念の日に高千穂町で毎年開催されている「第22回神話の高千穂建国まつり」が高千穂町中心部で開催されました。

古代衣装を身にまとい神様に扮し、高千穂神社からくしふる神社までを練り歩く「八百万（やおよろず）の神々のパレード」に加え、今年からの新たな試みとして「がまだせ総踊り」や「ダンスコンテスト」などが行われました。



高千穂建国まつりの神々のパレード

日之影町の河野さんが自宅に「水車」を設置

日之影町七折の河野一郎さんは、小学生の頃まで自宅にあった水車の記憶をたどりながら、水車と水車小屋を1月末に復元しました。

水車の回りには紅葉など様々な樹木が植えてあり、四季を通じて楽しめます。

河野さん宅は、八戸のこんにやく村の横から八戸小学校の方に入り、「影の木水車」の案内板を参考にしてください。



水車は松を使っており、直径3m。水車小屋には、水車の動力を利用した精米施設も設置。

編集後記

中国都市部から五ヶ瀬町にやってきた修学旅行は、大変好評でした。農家民宿に宿泊した修学旅行生は、「地元の人はやさしくて、大変よくしてもらった。楽しかった。」と感想を述べていました。言葉は通じませんが、心は通じ合ったようです。日中友好にも貢献しました。また、フォレストPIAの方が長崎県の青島に漁家民宿の研修に行かれたようです。西臼杵は、グリーンツーリズムや農家民宿のポテンシャルが高いと思います。西臼杵の良さを発揮できる農家民宿が各地で立ち上がることを期待しています。修

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

西臼杵支庁だより

消防訓練 救命救急講習を実施

2月2日

西臼杵支庁では、万一の事態に備えるため、高千穂町総務課の協力を得て、消防訓練及び救命救急講習を実施しました。

救命救急講習では、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使用法を受講しました。



実際に消化器の取扱い方法の実技も行いました。



今年1月から支庁舎1階にAEDを設置しています。